

バラ園 に行ってみよう

Coloma Kasteel Park コロマ城公園

ブリュッセル近郊Sint-Pieters-Leeuwのコロマ城公園 (Coloma Kasteel Park) に、1995年にできた15haのバラ園があります。3,000種25万本以上のバラが植えられている、ヨーロッパ最大規模のバラ園です。バラデザイナーのマルセル・ヴォッセン氏の下、手入れされたバラが咲き乱れるこれからの季節に足を運んでみましょう。



のバラは、病気に強い品種で、カナダからのバラは、冬にマイナス30°Cを越える場所から来ただけあって、寒さに強いものです。2009年には、日本のバラコーナーも城の向かいに作られました。鳥居があるので、すぐに分かります。さらに2012年には、中国のバラコーナーもできています。

バラ園は4つのテーマに別れています。まず入り口にはSint-Pieters-Leeuwの市旗のカラー赤と白のバラ園があり、我々を迎えてくれます。その奥にフランダースのバラ園、オールドローズと続き、28カ国の異なる国からのバラがある国際庭園となります。それぞれのバラは、その国の文化を象徴しています。例えば、イタリアのバラは、鮮やかな色を持ち、デンマークのバラは、雨に負けない強さを持っています。また、ドイツ



品種改良で新しいバラができると、ピカソやモネ、マチルダ王妃など著名人の名前が付けられてきました。近年では、プランセス・クレール(ローラン王子妃)という名のバラができました。また、品種を作った人の名前を授けたり、マダムやミスと恋人の名前が付けられたりもします。名前を見ながら、そのバラが名に相応しいかも探りながら鑑賞するのも

面白いですね。見ごろは、6月下旬～7月上旬と8月下旬～9月上旬です。

コロマ城公園敷地内には、ローズミュージアムがあり、バラの生育を紹介しています。また、コロマ城は、長年貴族の住居として使われていましたが、第2次世界大戦後に寄宿学校の事務室となりました。その後1982年にフランダース地方が維持を始め、1984年にSint-Pieters-Leeuwが城の所有者となりました。現在城は、カルチャーセンターとして、歴史資料展示や展覧会会場として利用されています。城の横には、カフェが併設されていて、天気の良い日には、テラス席で自然を満喫しながらベルギービールでのどの乾きを癒やせます。城は、堀に囲まれていて、鴨やアヒル、鯉などがたくさんいます。動物の健康上、パンくずなどは与えないようにとのことですので、気をつけましょう。



Rozentuin Coloma コロマ城公園内バラ園

www.natuurenbos.be/coloma

開園日時：5月15日～9月30日 10h～20h
10月10h～19h、月休

場所：Sint-Sebastiaansstraat 12, 1600 Sint-Pieters-Leeuw
コロマ城公園駐車場
Jozef Depauwstraat 25, 1600 Sint-Pieters-Leeuw
入場無料

*バラ園の入り口は狭い通りにあります。車は、入り口付近に駐車しにくいので、公園駐車場や、周りの市道に止めて、バラ園まで歩いて行きましょう。公園駐車場奥からも公園に入れます。

Rosenuitmuseum ローズミュージアム

開館日時：6月1日～9月1日 13h30～17h、月休
入場無料